



奈良県感染症発生動向調査還元情報（週報）

奈良県感染症情報センター Nara IDSC
（奈良県保健環境研究センター内）



● 今週の概要

■ 今週の感染症情報

■ 保健環境研究センターだより最終号：～保環研は生まれ変わります！～



（調査週）平成 25 年 第 12 週 3 月 18 日（月）～3 月 24 日（日）

奈良県および二次医療圏別発生状況（奈良県上位 5 疾患）（5 週前からの動向）

順位	疾患	定点当り	奈良県	北部	中部	南部
1	感染性胃腸炎	6.23	→	→	→	→～↑
2	インフルエンザ	5.93	→～↓	↓	→～↓	↓
3	水痘	0.69	→	↑	→	↓
4	A 群溶連菌咽頭炎	0.60	→～↓	→～↓	→	→
5	咽頭結膜熱	0.46	↑	→	↑↑	↑

全県の動きと目立って異なる推移（定点当りの変化程度で実数ではない）を太い矢印で示す。

県北部地区概況 報告数は265例で、前週報告の335例から減少。上位 5 疾患は、①感染性胃腸炎、②インフルエンザ、③水痘、④A群溶連菌咽頭炎、⑤RSウイルス感染症の順。水痘の報告数（13例）は、横ばい。インフルエンザの報告数（172→122例）は、減少。感染性胃腸炎の報告数（107例）は、やや減少。A群溶連菌咽頭炎の報告数（10例）も、やや減少。RSウイルス感染症の報告数（5例）も、やや減少。また、インフルエンザ定点からの報告は、奈良市HC管内；54例、郡山HC管内；68例の計122例、定点当たりの報告数が4.52だった。奈良市HC管内眼科定点から、急性出血性結膜炎の報告が1例、流行性角結膜炎の報告が1例あった。奈良市HCおよび郡山HC両管内、基幹定点からの報告は、すべてなかった。（村井 記）

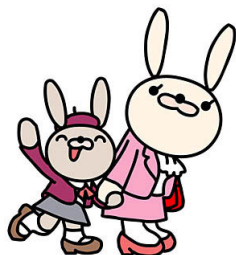
県北部外来状況 外来患者数はインフルエンザの減少に比例して減少している。感染性胃腸炎は幼児でロタウイルス胃腸炎が流行しているが、ワクチン既接種者は軽度の下痢症状だけでワクチンの効果は絶大である。保育園児で水痘の流行が続いている。(矢追 記)

県中部地区概況 報告数は、372 例から 320 例と減少した。上位 5 疾患は、インフルエンザ、感染性胃腸炎、咽頭結膜熱・水痘、A 群溶連菌咽頭炎の順であった。インフルエンザは、185 例と減少傾向であり、定点当たりのインフルエンザ患者の報告数は、8.41 である。感染性胃腸炎は、93 例と横ばいである。基幹定点からは、マイコプラズマ肺炎 1 例（5～9 歳）の報告が、葛城保健所よりあった。眼科定点からの報告はなかった。(高木 記)

県中部外来状況 外来数は減少。インフルエンザは今週はゼロであった。高熱、咽頭発赤のアデノ様の例が多いが迅速では陰性。乳児で RS 気管支炎が流行中、2 才児にもあった。ロタウイルスも増加、重症例はない。その他水痘が流行中。(岡本 記)

県南部地区概況 報告数（第 11 週→第 12 週）は 51 例→50 例と推移。報告のあった疾患は、①インフルエンザ（17 例→19 例）、②感染性胃腸炎（17 例→18 例）、③RS ウイルス感染症（9 例→4 例）、④突発性発疹（2 例→4 例）、⑤咽頭結膜熱（1 例→2 例）、⑥A 群溶連菌咽頭炎（3 例→2 例）、⑦手足口病（0 例→1 例）であった。(柳生 記)

県南部外来状況 外来数は減少している。インフルエンザはまだ散見し、横這いが続いている。A 型その他、B 型も市外に通学する学生や、関東から帰省した子供などで見られる。今シーズン A 型は殆どが AH3N2 の模様であったが、2 月下旬の 1 例で AH1N1pdm の報告があった。感染性胃腸炎はロタが少し多くなっているが、アデノもやや見られる。A 群溶連菌咽頭炎、水痘の他、手足口病もあった。RS ウイルス感染症もまだ少し見られる。(山本 記)



【保健環境研究センターだより最終号】

～保環研は生まれ変わります！～

●当センターは昭和46年に当時、奈良保健所にあった奈良県衛生研究所が、現在の奈良市大森町に移転し、平成14年に奈良県保健環境研究センターと名称変更を経て、この地で40年以上にわたり奈良県の公衆衛生行政の一翼を担ってきました。また、奈良県の公設試験研究機関として、多くの関係学会での学会発表や論文投稿など、公衆衛生上の課題解決に向けて、積極的な研究活動も行ってきました。



現在の奈良県保健環境研究センター職員

●今般、当センターは施設の老朽化等により桜井市粟殿へ新築移転することになりました。水質、大気、食品、感染症等の各分野の行政検査、調査研究に加え、職員一同移設の準備に全力を挙げてきました。新庁舎も無事完成し、この4月からは、新たな組織、環境、メンバーで引き続き、検査業務、調査研究業務を新庁舎で行うこととなります。



●全職員一同、早期に通常業務を開始できるよう全力を挙げておりますが、新年度当初は、引っ越しの後始末や、慣れない環境での業務となり、関係者の方々にはご迷惑をおかけすることになるかも知れませんが、今後も当センターの業務へのご理解の程よろしくお願い申し上げます。

現在の奈良県保健環境研究センター
左側：旧館、右側：新館
(奈良市大森町)

(ウイルスチーム一同 記)

感染症情報センターホームページアドレス

<http://www.pref.nara.jp/27874.htm>